

地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業の実施について

【短期大学部保育科での取り組み】

◆地元産業界等との課題

北九州市の地元就職者減少という課題に対して、連携事業を通して北九州市内の幼稚園・保育園を学生に知ってもらい、市内の園への就職者を増やすことを目標にしている。

この活動実施にあたって「北九州市私立幼稚園連盟」「北九州市私立保育園連盟」「北九州市保育所連盟」「北九州市保育士会」と連携している。

◆具体的な活動内容

短期大学部保育科の学生を対象に幼稚園・幼稚園教諭を知る活動「教育懇談会」

保育園・保育士を知る活動「園長先生とのサークルトーク」を開催。

現場で働く幼稚園教諭と、連盟役員園長等を学内にお招きし、教諭から直接話を聞くことに始まり、学生からの質問に応じていただく。実習とは違った切り口で幼稚園教諭と直接対話することで、より身近に園や先生を知ることができる。

この活動から長期休みに自主実習に臨むことも多く、北九州市内の幼稚園への就職者を増やすことにつながっている。

保育園を知る活動としては「北九州市保育士会」「北九州市私立保育園連盟」から園長を中心に学内にお越しいただき、学生を少人数のグループ分けした上で、保育園・保育士について園長から触接話を聞く機会を設けている。

園長ならではの、保育士の待遇面などにも言及できるため、学生は保育園をマネジメントする立場を知ることができる。

学生は園長と直接対話することで、園の特徴や方針を知り、自主実習する保育園候補として考える保育園を増やすきっかけになっている。

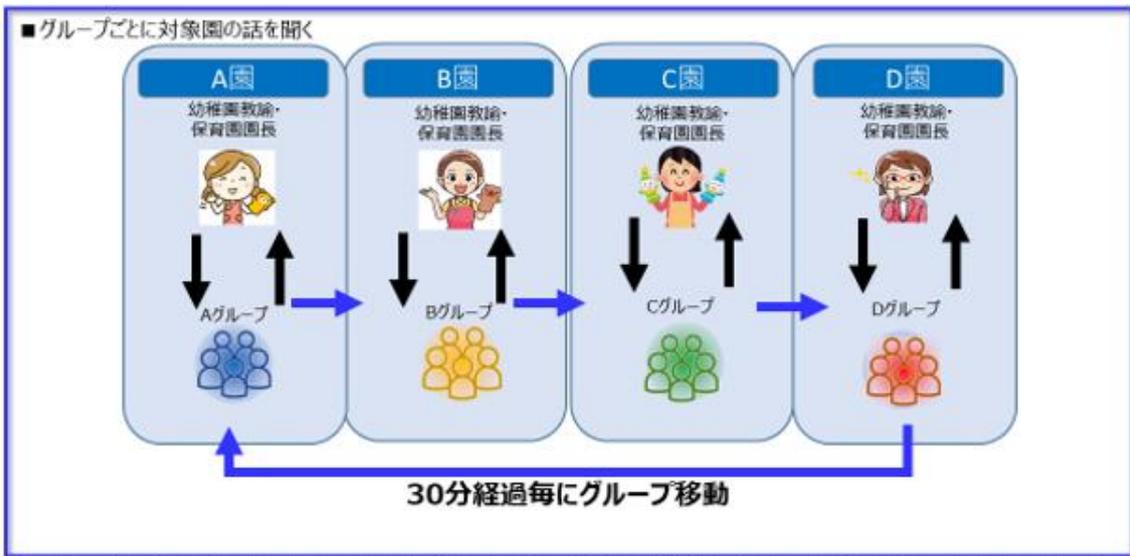
◆学内でのサークルトーク・教育懇談会(2024年度)

幼稚園・保育園 各年1回

時間数:90分(1コマ)

学生数:約90名

参加園:幼稚園4園(教諭9名)、保育園14園(園長14名)



- ・幼稚園教諭、保育園園長などからリアルな保育現場の話聞く→学生からの疑問にその場で答える。
- ・北九州市内の幼稚園、保育園がより身近な存在となる
- ・自主実習園の候補、就職希望先園の候補となる